



河合町

kawaicho bousai

総合防災 マップ

保存版

地域の絆があなたの命を守る



河合町
あなただけ



河合町

河合町
あなろ

総合防災マップ

はじめに

防災対策は日頃の備えから!

近年、相次ぐ地震や台風、集中豪雨、土砂災害等により、全国各地で大きな被害が発生しております。地震や風水害などの自然災害は、私たち人間の力では食い止めることはできませんが、災害による被害は、日頃の備えによって減らすことができます。自治体などによる防災の取り組み(公助)はもちろんのこと、自分の身は自分で守る(自助)隣近所で助け合う(近助)や地域の人たちで助け合うこと(共助)は、災害による被害を少なくするためには不可欠な取り組みといえます。

いざというときに備えて、防災情報の収集方法、日頃の備え、避難に関する知識、非常持出し品の準備など、まずは身の回りの安全対策から始めましょう。また、災害発生時には、何よりも地域の人たちの協力が必要です。地域の人たちで協力し、災害時にすばやく行動できる体制をつくりましょう。

この防災マップを手に取りやすい場所においていただき、ご家族

や地域で防災・減災対策を進める際に役立てていただければと思います。



河合町長 清原和人

もくじ

自助・共助・公助	1
情報伝達の流れ	2
情報の収集方法	3
日頃の備え	4
避難の心得	5
災害の知識	6
非常持出し品・備蓄品	7
地震の知識	8
地震発生時の行動	9
ゆれやすさマップ	10
地域の危険度マップ	11
洪水浸水想定区域図とは	12
索引図	13
洪水ハザートマップ	14~23
想定最大規模	
家屋倒壊等氾濫(氾濫流/河岸侵食)	
土砂災害ハザードマップ	
洪水ハザードマップ(浸水継続時間)	24・25
指定避難所一覧	26

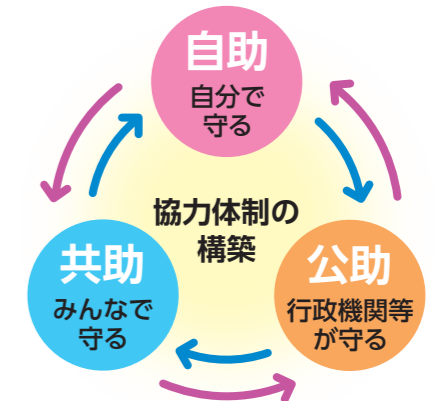


自助・共助・公助

自助・共助・公助とは

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、町民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

- 自助** 「自分の身は自分で守る」
飲料水、食料等の備蓄、防災知識や技術の習得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。
- 共助** 「互いに助け合い、被害を減らす」
自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。地区防災計画の策定。
- 公助** 行政機関(町、県、国、消防、警察、自衛隊など)の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対応活動にあたるよう備えています。



自助・共助・公助の連携が必要です

+ これからは…

- 近助** 日頃の見守りや災害発生時は遠くの方より、家族、隣人、向こう三軒両隣など、近くにいる人が頼りになります。みんなで助け合う「共助」と共に、顔の見える近くにいる人が近くにいる人を助ける。少子高齢化社会では、「近助」の支え合いが不可欠。

※山村武彦著「近助の精神」近くで近くを助ける防災隣組より引用

【災害に備えて、自治会に入りましょう。】

日ごろから隣近所のつながりを深め、いざというときに助け合えるようにしましょう。大きな災害が起こったときは、人は一人では対応できません。隣近所の助け合いが一番大切になってきます。

自主防災組織の協力

- 自主防災組織とは**
地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。
- 平常時の活動**
 - ①防災知識の普及啓発
 - ②防災訓練や地域の防災安全点検の実施
 - ③防災資機材の備蓄
- 災害時の活動**
 - ①地域住民への避難の呼びかけ・誘導
 - ②負傷者の救出・救護
 - ③初期消火活動
 - ④避難所の運営

特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、「災害に強いまち河合町」を作りあげましょう。



自主防災

河合町総合防災マップ ◆お問い合わせ先

2020年(令和2年)3月 発行

発行：河合町 防災情報 河合町 〒636-8501 奈良県北葛城郡河合町池部1丁目1番1号 TEL 0745-57-0200(代) FAX 0745-56-4007
地図 (株)ゼンリン奈良営業所 〒630-8141 奈良県奈良市南京終町3丁目1538番地4 TEL 0742-64-3622

※掲載内容は発行後、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

無断で複写・転載することをご遠慮下さい。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

©Kawai town ©2020 ZENRIN CO., LTD.

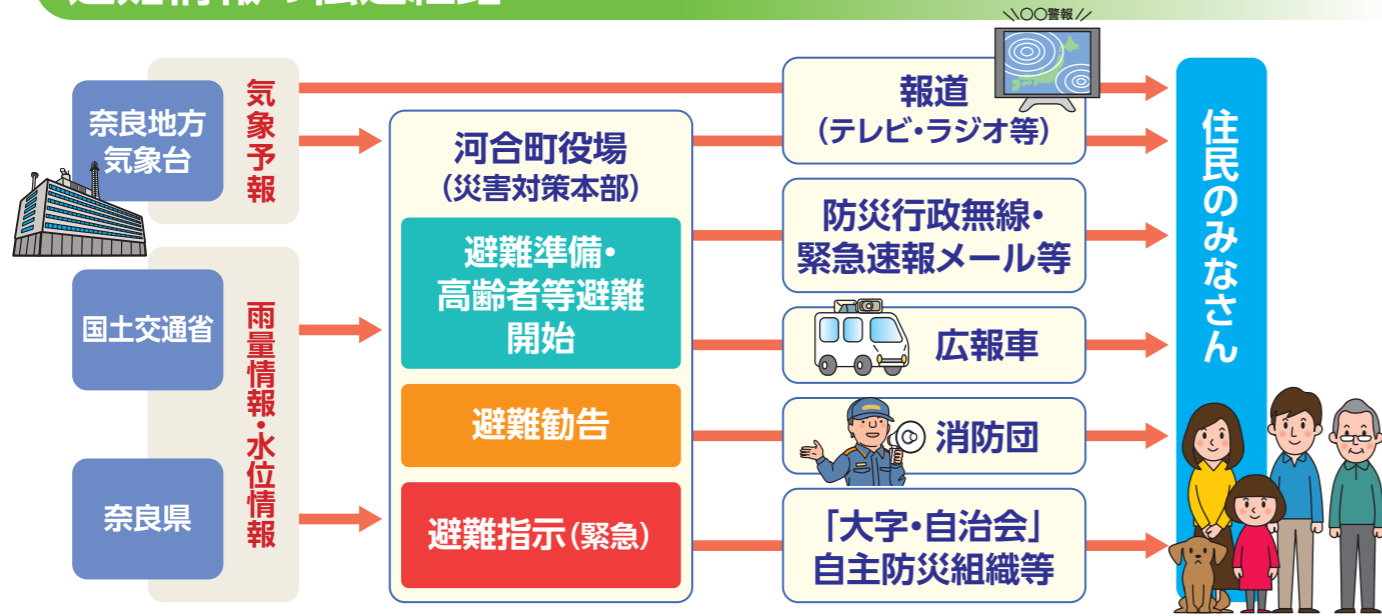
この地図は、河合町長の承認を得て「河合町都市計画図 縮尺1/2,500」を使用し、調整したものです。(承認文書番号 河ま推第69号)

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-1411号)



情報伝達の流れ

避難情報の伝達経路



情報の収集方法

インターネットから

風水害は、最新の気象情報などを入手することで、時期や規模を予想することができます。テレビやラジオの報道に注意し、近所の人々と連絡を取りましょう。特に、インターネットやテレビのデータ放送は、自分の知りたい情報を得ることができるので積極的に情報を集めることができます。

奈良県ホームページ(防災・危機管理)
http://www.pref.nara.jp/1825.htm



気象庁ホームページ(気象庁ホーム)
http://www.jma.go.jp/jma/index.html



奈良県ホームページ(砂防・災害対策課)
http://www.pref.nara.jp/1681.htm



気象庁ホームページ(防災情報奈良県)
http://www.jma.go.jp/jma/bosai/nara.html



奈良県ホームページ(川の防災情報)
http://www.pref.nara.jp/43968.htm



NTT西日本(災害用伝言ダイヤル)
https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

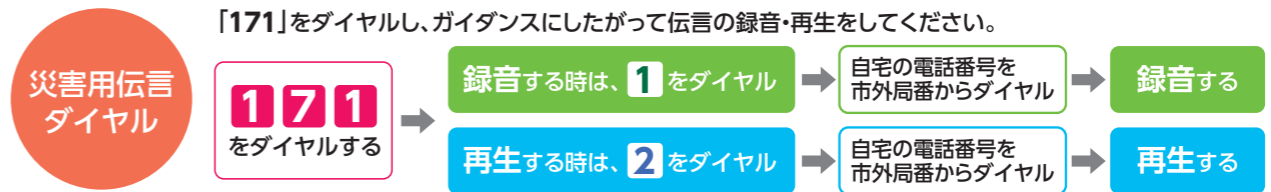


水害の避難情報と警戒レベル

水害に関して、河合町が出す避難情報と、国や奈良県が出す防災気象情報が、5段階※1に整理されました。

〈避難情報等〉		〈防災気象情報〉	
警戒レベル	発令される避難情報等	住民の避難行動等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	災害発生情報※2 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令【河合町が発令】	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	避難勧告 避難指示(緊急)※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令【河合町が発令】	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内 のより安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始 【河合町が発令】	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がい のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を しましょう。その他の人は、避難の準備を 整えましょう。	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報等 【気象庁が発表】	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。	これらは、住民が自主的 に避難行動をとるために 参考とする情報です。
警戒レベル1	早期注意情報 【気象庁が発表】	災害への心構えを高めましょう。	

※1 防災気象情報が発表されても、警戒レベル・避難勧告等の避難情報が発令されるとは限りません。
警戒レベル・避難勧告等の避難情報は、気象状況や町内の被害状況等を総合的に判断して町が発令します。



河合町防災行政情報配信サービス

防災情報、役場や自治会からのお知らせ、消防庁からの情報(ミサイル・テロ情報、緊急地震速報)を、電子メールや電話、FAXでお知らせするサービスです。

電話・FAXでの情報受け取り希望の方は、役場(安心安全推進課)までお問い合わせください。

【電子メールの場合】

QRコードを読み取り、空メールを送信してください。数分以内に登録用URLが記載されたメールが届きますので、クリックし登録サイトの案内に沿って氏名等入力し、登録をお願いします。



※迷惑メールブロック設定されている場合は、メール設定で kawai-town@raidan3.ktaiwork.jp のアドレスを受信できるようにしてください。

LINE公式アカウント

LINE公式アカウントでも上記の情報を確認することができます。

①QRコードから

QRコードを読み取り
「友だち追加」



②ID検索から

IDを検索して
「友だち追加」

@kawai-town



日頃の備え

風水害への備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック塀・板塀など

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

排水溝

- 側溝や雨水ますにごみや土砂はありませんか

窓

- 窓枠のがたつきはありませんか
- 雨戸にがたつきはありませんか

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナなどはありませんか
- トタンなどがめくれていませんか
- 瓦のひび・割れ・はがれなどはありませんか
- 雨どいにごみや木の葉は溜まっていませんか

その他

- ガスボンベは固定していますか
- 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
- ごみ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

竜巻・落雷から身を守るために!

近年、竜巻や落雷といった災害が増加傾向です。発生する要因を知り、すみやかに避難できるようにしましょう。

“発達した積乱雲”に注意!

竜巻・落雷とも台風・寒冷前線・低気圧などにより“発達した積乱雲”に伴って発生します。

兆候

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- 雷の音が聞こえてくる
- 急に冷たい風が吹いてくる
- 大粒の雨やひょうが降りだす

竜巻

日本では、平均して年に23個程度(2007~2017年、海上竜巻を除く)の発生が確認されています。一度発生すると家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより短時間で大きな人的・物的被害をもたらすことがあります。



避難のポイント

- 近くの頑丈な建物に避難する。
- 飛散物から身を守るような物陰に身を隠し、頭を抱えてうずくまる。
- 窓や扉、部屋の隅や外壁から離れ、頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。

落雷

雷は積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ちます。また周囲より高いものほど落ちやすいという特徴があります。



避難のポイント

- 雷鳴が聞こえたら、すぐに建物の中や自動車の中に避難する。
- 避難する建物がない場合は、電柱や木から4m以上離れて、身を低くする。

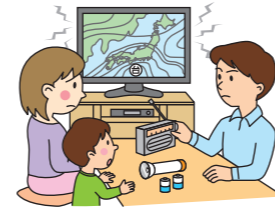


避難の心得

避難のポイント

正確な情報の入手

テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけ高い道路を選び、水路などには十分注意しましょう。また土砂災害警戒区域を避けるようにしましょう。



徒歩での避難が基本

車での移動は緊急車両の通行のさまたげになります。また浸水すると車が動けなくなりますので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



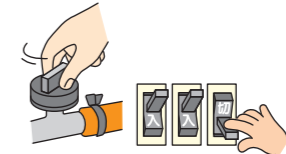
万が一逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。



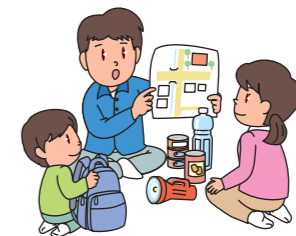
避難する前の確認

避難する前に、電気・ガスなどの火を消し、避難所の位置を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



非常持出し品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう。



要配慮者への協力

お年寄りや子供などは早めの避難が必要です。近所のお年寄りが避難する場合には、協力しましょう。



動きやすい服装での避難を

避難するときは、動きやすい服装で2人以上での避難を心がけましょう。



大雨の際の危険箇所

地下道(アンダーパス)

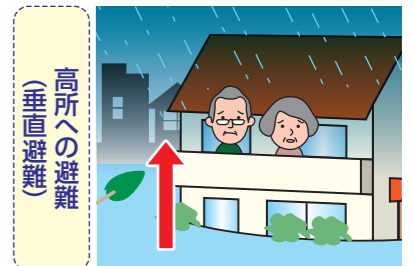
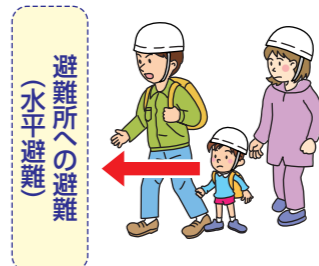
鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまる恐れがあるので、車で入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。



車両の場合、約30cm以下の冠水で走行困難になる場合があります。

浸水時の水平避難と垂直避難

風水害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。





災害の知識

風水害

雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報単語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。 	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生のおそれ強く、厳重な警戒が必要。



土砂災害

奈良県ホームページ(砂防・災害対策課)
<http://www.pref.nara.jp/item/207325.htm>



土砂災害(特別)警戒区域とは

- **土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**
崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれのある区域
- **土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)**
崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれのある区域

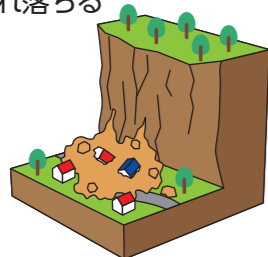


土砂災害の知識

台風や集中豪雨、地震などにより、いろいろな土砂災害が予想されます。特に造成地や河川敷、山岳地帯などでは十分な警戒が必要です。土砂災害警戒情報に注意しましょう!

● がけ崩れ

急な斜面が大雨等によって緩み、とつぜん崩れ落ちる現象です。



● 土石流

谷や溪流から、土砂や石、木を含んだ濁流が、すごい勢いで押し流される現象です。



● 地すべり

比較的広い範囲にわたり雨水を含んだ土地が、ゆっくりと動き出す現象です。



大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、奈良地方気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報

災害が発生するおそれがある

- 大雨** 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。
- 洪水** 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨・洪水警報

重大な災害が発生するおそれがある

- 大雨** 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。
- 洪水** 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨特別警報

「警報」よりもはるかに高い危険度

- 大雨** 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
「洪水」は、各河川において洪水予報や水位情報を発表しているため、特別警報の設定はありません。



非常持出し品・備蓄品

リュックサックなどに入れておき、避難しなければならないときに持ち出す「非常持出し品」と、避難後の生活を支える「非常備蓄品」の2段階で準備しておく必要があります。リストを参考に、個人や家庭で必要なものをしっかり準備しておきましょう。

非常持出し品チェックリスト

- 貴重品類**
 - 現金
 - 預金通帳
 - 印鑑
 - 保険証
 - 免許証
- 避難用具**
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - 予備電池
 - ヘルメット・防災ずきん
- 非常食品**
 - 乾パン
 - 缶詰
 - 栄養補助食品
 - アメ、チョコレート
 - 飲料水

- 救急用具**
 - 救急セット
 - 処方箋の控え
 - 胃腸薬、便秘薬、持病の薬
 - 生理用品
 - 紙おむつ (高齢者用、乳幼児用)
-

- 生活用品**
 - 軍手(厚手の手袋)
 - 毛布
 - 缶切り
 - ライター、マッチ、ろうそく
 - ナイフ
 - 携帯用トイレ
 - 使い捨てカイロ
 - ウェットティッシュ
 - 筆記用具
 - 携帯電話(充電器含む)
- 衣料品**
 - 下着、靴下
 - 長袖、長ズボン
 - 防寒用ジャケット、雨具

非常備蓄品チェックリスト

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、自宅で避難生活を送ることや、避難所へ持ち出すことを想定し、最低3日分の生活に必要な備蓄品を備えておきましょう。

- 飲料水 9リットル(3リットル×3日分)
- ご飯(アルファ米) 4~5食分※
- ビスケット 1~2箱
- 板チョコ 2~3枚
- 乾パン 1~2缶
- 下着 2~3組
- 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど

※乳児がいる場合「液体ミルク等」

食料品・生活消耗品の備蓄には「ローリングストック法」が有効です。

ローリングストック法とは、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買って足し備蓄していく方法。食べながら備えるために消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱うことができます。消費期限を考えながら計画的に消費し、消費した分は新たに購入するようにしましょう。



地震の知識

震度と揺れの状況(震度階級表)

震度3	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ● 眠っている人の大半が目覚ます。 ● 棚にある食器類が音を立てることがある。 	震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ● ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが損傷、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたり、倒れるものもある。
震度4	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 不安定な置物が倒れることがある。 	震度6強	<ul style="list-style-type: none"> ● はわないと動くことができず、飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山崩れが発生することがある。
震度5弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	震度7	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れることがある。
震度5強	<ul style="list-style-type: none"> ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や書籍の本で落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 		

家具転倒防止

窓や食器棚のガラスには「飛散防止フィルム」、ピアノの脚には「すべり止め」を!

開き扉は中の物が飛び出さないよう留め具を付けます。

額は落ちないように鎖や留め具で固定します。

冷蔵庫は転倒防止器具で固定します。

壁が弱かったら固定用の「横木」を取り付けよう

L型金具やヒートンで固定する時は、壁の下地のある所か鴨居に取り付けよう

固定用の針金は太さが1ミリ以上のものを使ってね

※ピアノの固定方法については、メーカーや購入店に相談しましょう。

横木
ヒートン
針金

L字金具

すべり止め

ヒートン
針金

平型金具

下地

耐震診断・耐震改修・ブロック塀撤去

町では地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日以前に建築された戸建住宅の耐震診断に要する費用及び耐震改修工事に要する費用の一部及び基準を満たしていないブロック塀の撤去費用の一部について、補助金を交付します。【問い合わせ先】 安心安全推進課



地震発生時の行動

地震が起きた時の行動

地震発生
最初の大きな揺れは約1分

命を守る
とにかく**すぐ避難!**

- 落ち着いて、自分の身を守る
- ガスの元栓を締めるなど火の始末をする
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

1~4分
家族を守る
揺れが収まってから行動

- 家族の安全を確認
- 火の元を確認・初期消火
- 足をケガしないように靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

5~10分
地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を締める
- 火が天井に達したり
家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

10分~数時間後
避難生活
助け合いの心で...

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家に入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

●外出編

職場では... OA機器やキャビネットなどから離れ、頭部を保護して机の下にもぐりましょう。	学校・塾では... 教室では机の下などに隠れます。体育館や運動場では真ん中に集まってしゃがみます。	デパート・スーパーでは... バックや買い物かごなどで頭部を保護し、ショーケースから離れます。係員の指示に従います。	地下街では... バックなどで頭部を保護します。停電になっても非常灯がつくまで動かないようにします。
家の周囲では... 屋根からの瓦や窓ガラスの破片など落下物に注意しましょう。	エレベータでは... 全ての階のボタンを押し、最初に止まった階でおります。動かない時は非常用連絡ボタンを押しします。	電車・バスの中では... 姿勢を低くして頭部をカバンなどで保護します。	山・丘陵地では... まずは、落石から身を守りましょう。崖や急傾斜地などから、できるだけ離れましょう。

シェイクアウト(訓練)とは?

訓練の内容



- 1 「DROP! : まず低く!
 - 2 「COVER! : 頭を守り!
 - 3 「HOLD ON! : 動かない!
- ①~③の安全確保行動をいっせいに実施



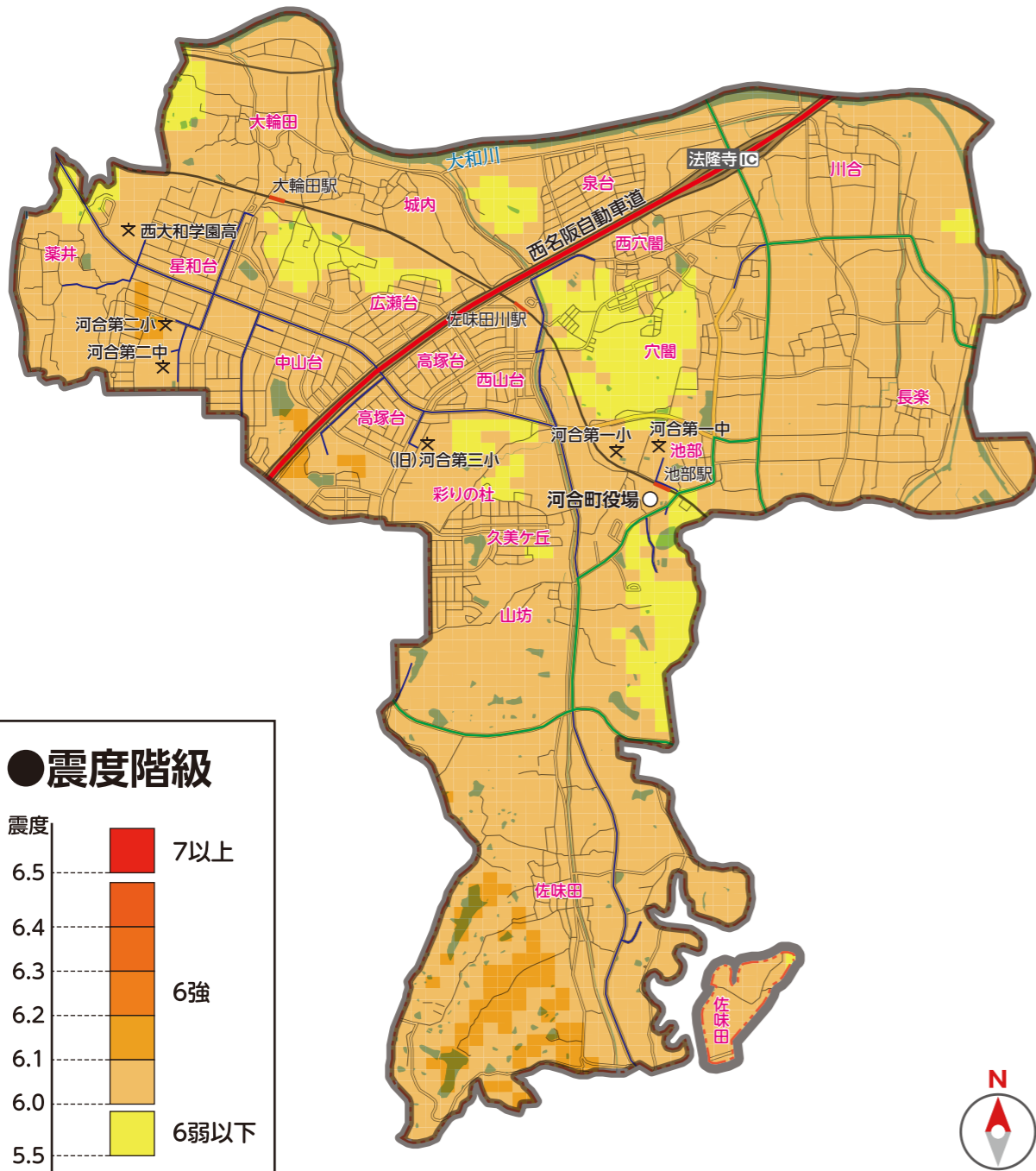
ゆれやすさマップ

ゆれやすさマップ

●ゆれやすさマップとは？

ゆれやすさマップは、河合町への影響が大きいと想定される「活断層地震」「海溝型地震」、および「全国どこでも起こりうる直下型の地震」の予測震度を重ね合わせて、それぞれの地域で生じる恐れのある最大の揺れを表したものです。

したがって、実際に地震が発生した場合には、予測されたとおりの震度の揺れが生じるとは限りませんが、最大の揺れに対する日頃からの備えを心がけましょう。



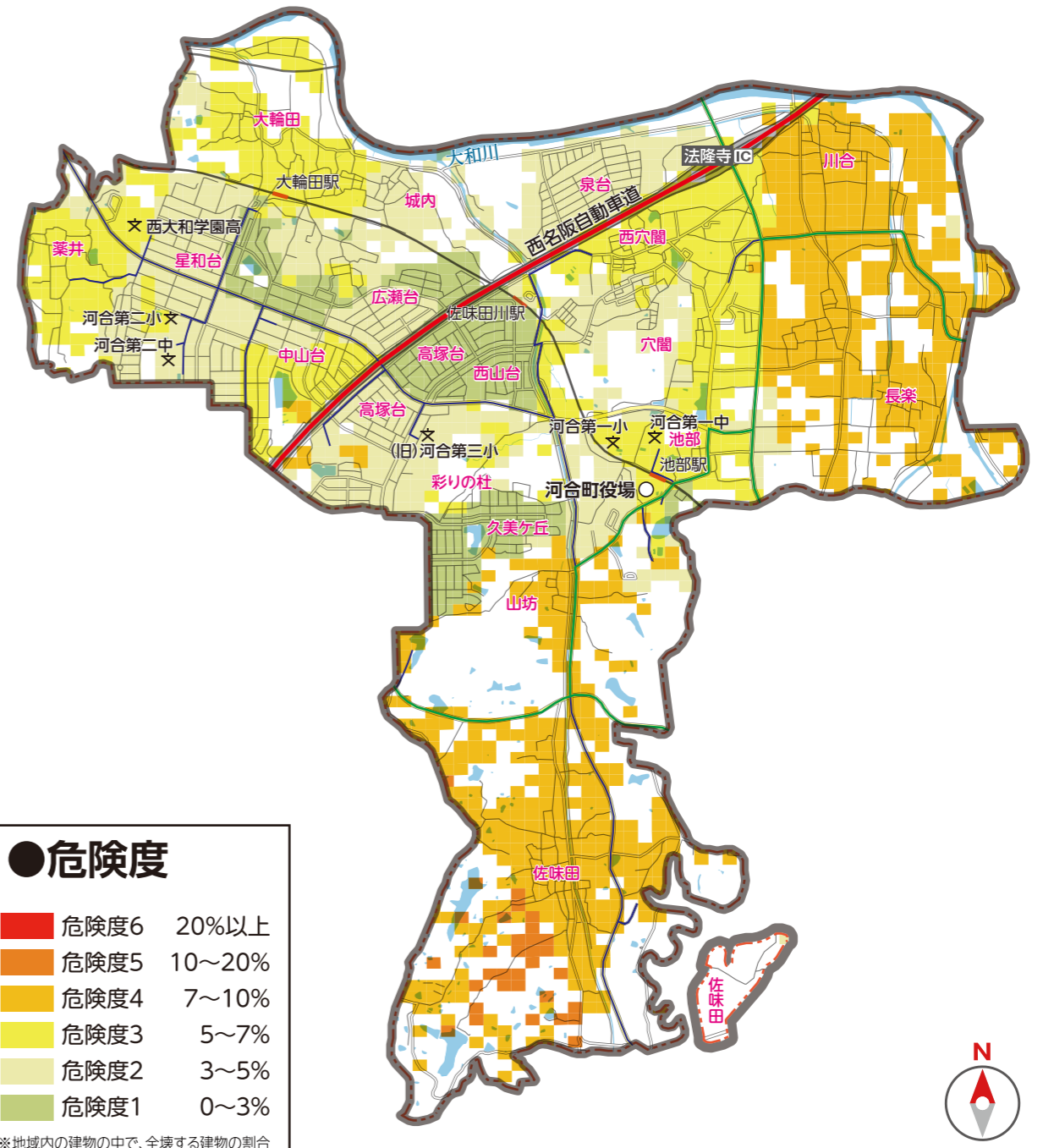
地域の危険度マップ

地域の危険度マップ

●地域の危険度マップとは？

地域の危険度マップとは、地震の揺れによって発生する建物被害の状況を、相対的に表したもので、「ゆれやすさマップ」で示した最大の揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。

大きな地震が発生すると建物が倒壊し、家具の下の敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインの寸断、火災の発生など、大きな被害に発展する恐れがあります。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。





洪水浸水想定区域図とは

洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保するため、洪水により相当な被害が生ずる恐れがあるものとして指定した「水位周知河川」等において、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を示した図です。

降雨条件が**12時間総雨量 316mm**のときの大雨を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

大和川水系大和川、曾我川、葛城川、飛鳥川、寺川、葛下川、高田川及び高取川の8河川の浸水する範囲を重ね合わせた最大値を表示されるように作成しました。

洪水浸水想定区域図の内容



● 想定最大規模

県内の水位周知河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

● 浸水継続時間

県内の水位周知河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水継続時間を表示した図面です。

● 家屋倒壊等氾濫想定区域 [氾濫流]

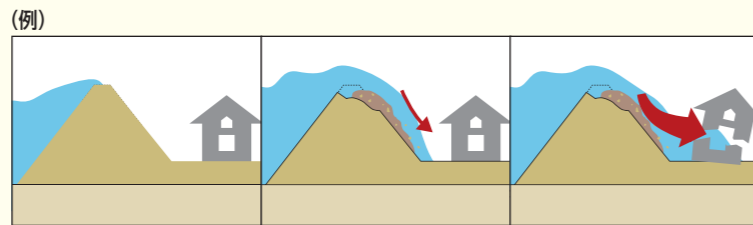
県内の水位周知河川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、氾濫流による家屋倒壊・流出等の危険性を表示した図面です。

● 家屋倒壊等氾濫想定区域 [河岸侵食]

県内の水位周知河川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、河岸の侵食幅を予測したものを表示した図面です。

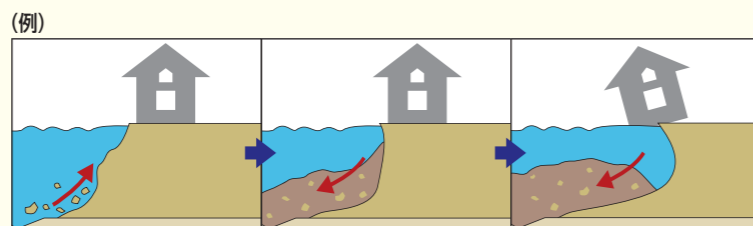
氾濫流 (はんらんりゅう)

堤防の決壊に伴う激しい流れのこと



河岸侵食 (かがんしんしょく)

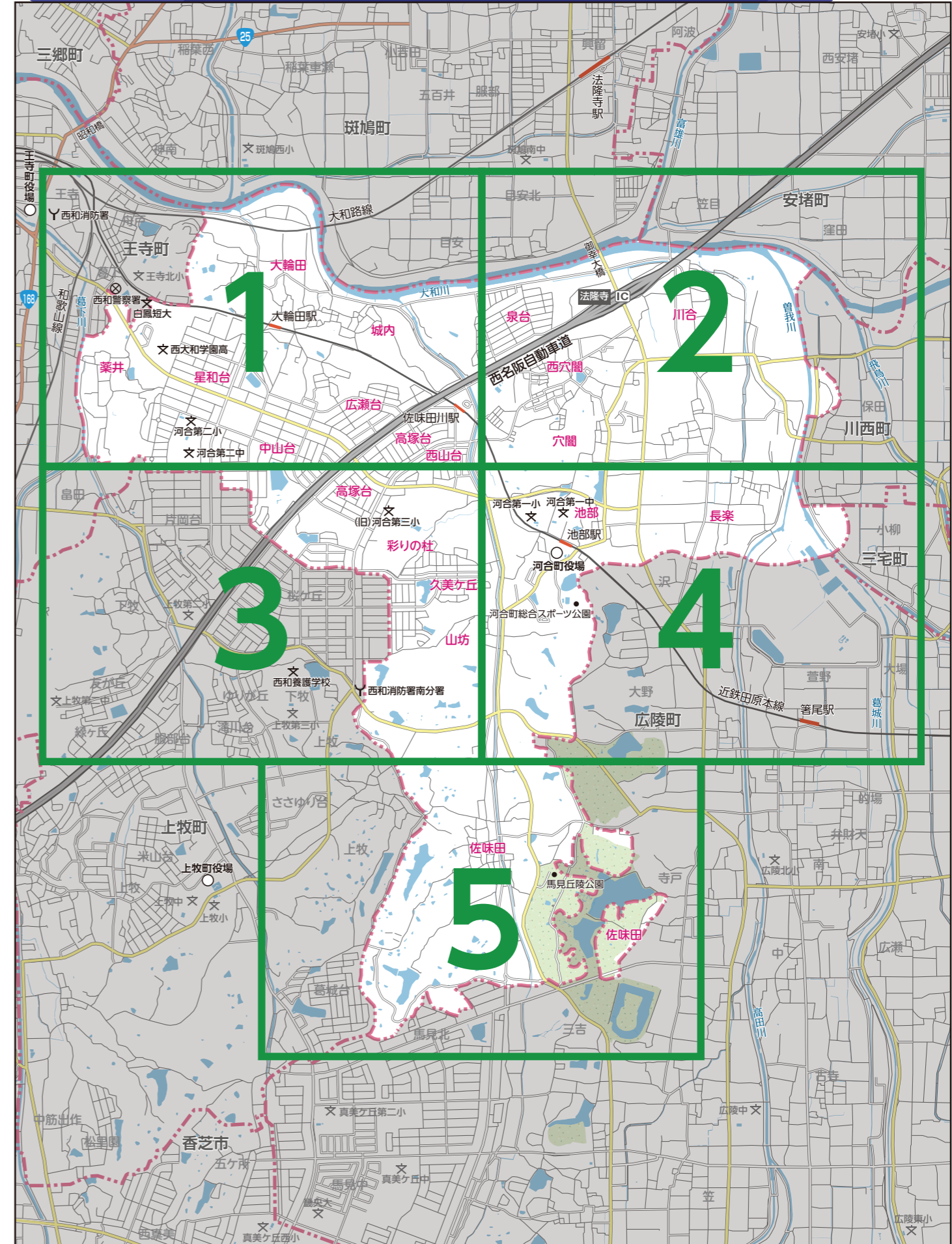
激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られること



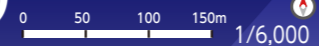
索引図

洪水ハザードマップ(浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ

0 150 300m 1/30,000

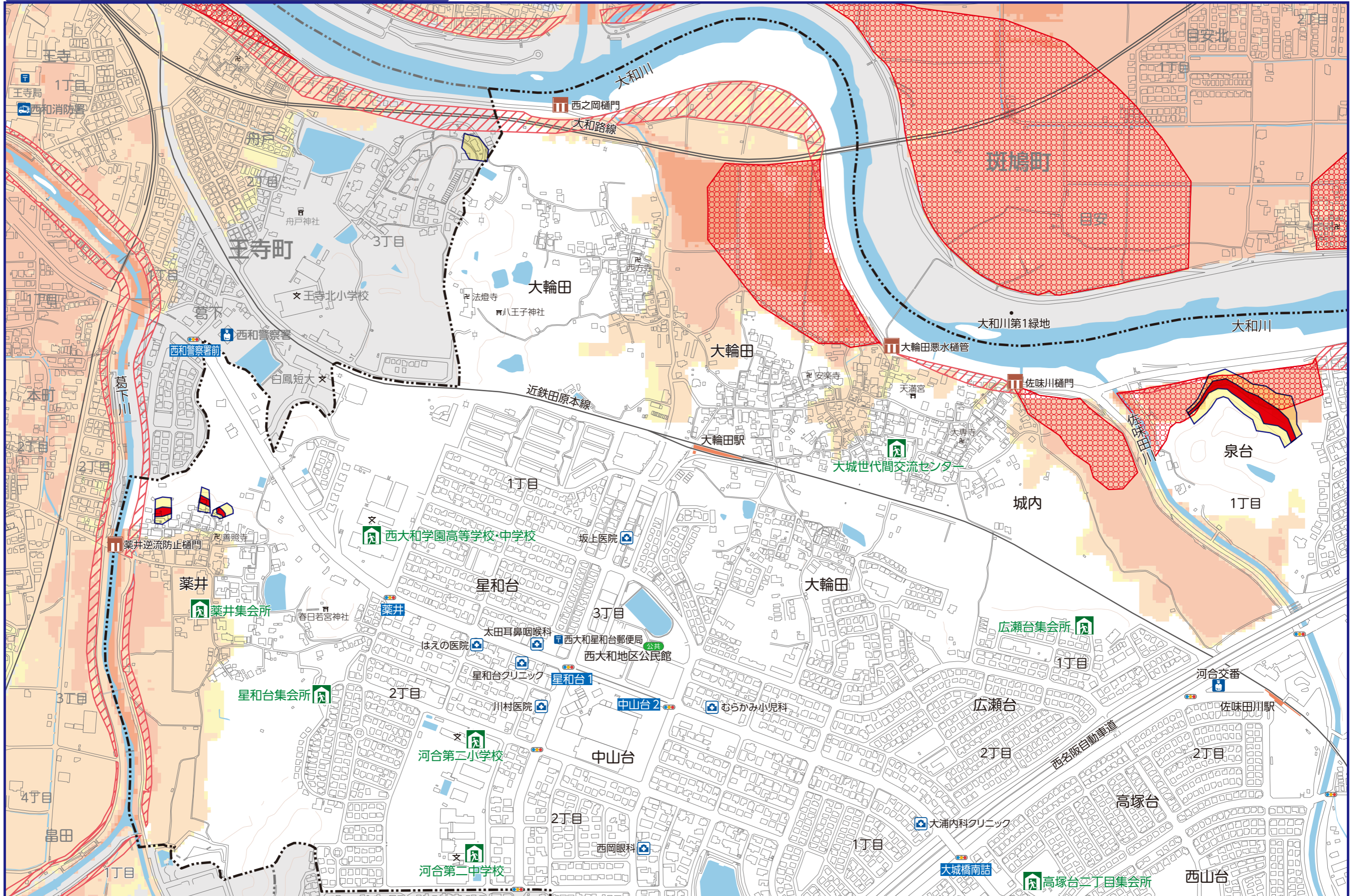


洪水ハザードマップ(想定最大規模) (家屋倒壊等氾濫 [氾濫流/河岸侵食]) 土砂災害ハザードマップ



- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 公共施設
 - 樋門
 - 水位観測所
 - ヘリポート
 - 消防署
 - 警察
 - 病院
 - 郵便局
 - CCTV(カメラ)

- ハザード情報
- 浸水した場合に想定される水深
- 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
 - 氾濫流
- 土砂災害
- 急傾斜(レッドゾーン)
 - 急傾斜(イエローゾーン)

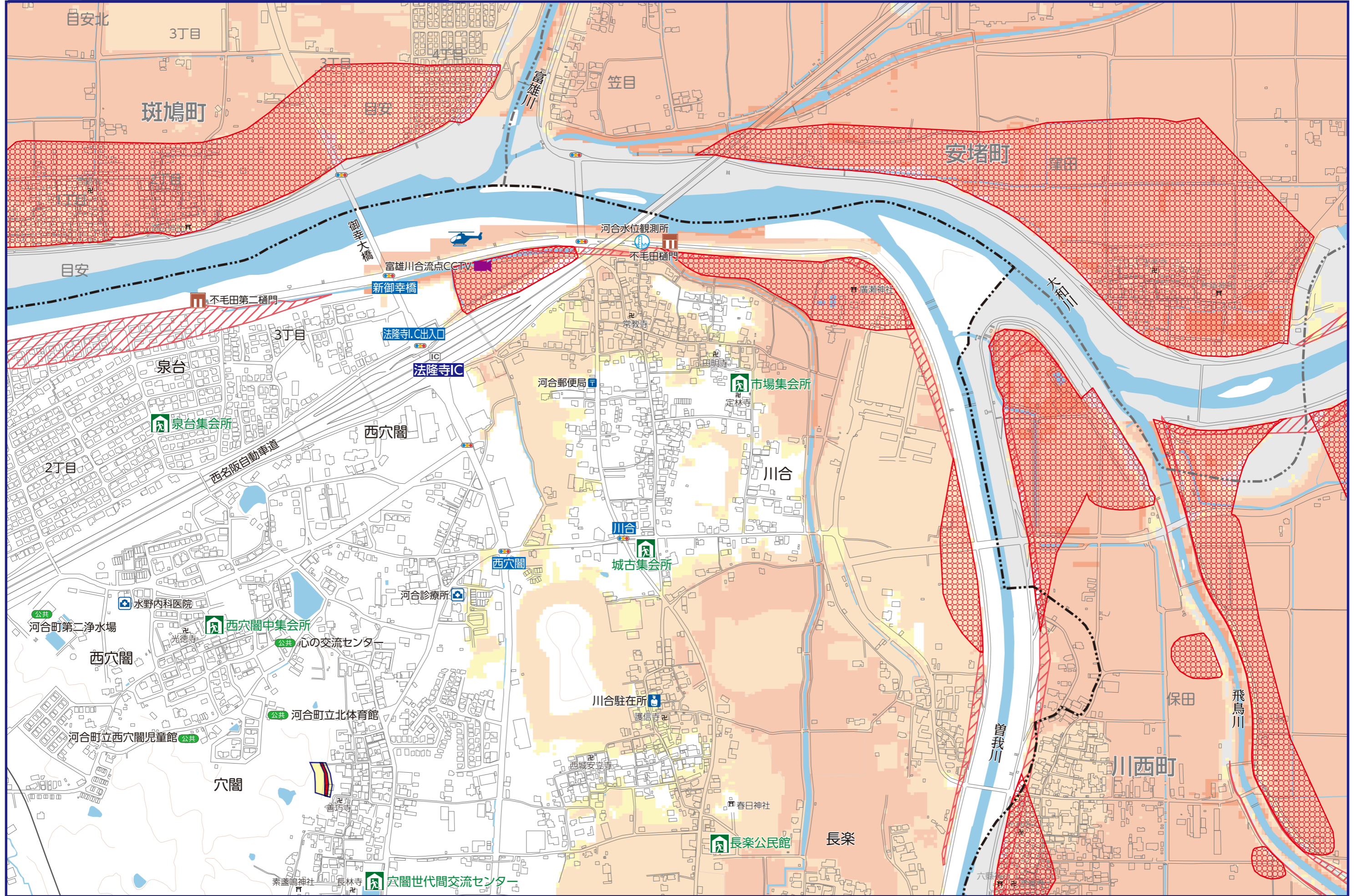


洪水ハザードマップ(想定最大規模) (家屋倒壊等氾濫[氾濫流/河岸侵食]) 土砂災害ハザードマップ

0 50 100 150m 1/6,000

- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 公共施設
 - 樋門
 - 水位観測所
 - ヘリポート
 - 消防署
 - 警察
 - 病院
 - 郵便局
 - CCTV(カメラ)

- ハザード情報
- 浸水した場合に想定される水深
- 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
 - 氾濫流
- 土砂災害
- 急傾斜(レッドゾーン)
 - 急傾斜(イエローゾーン)



洪水ハザードマップ(想定最大規模) (家屋倒壊等氾濫[氾濫流/河岸侵食]) 土砂災害ハザードマップ

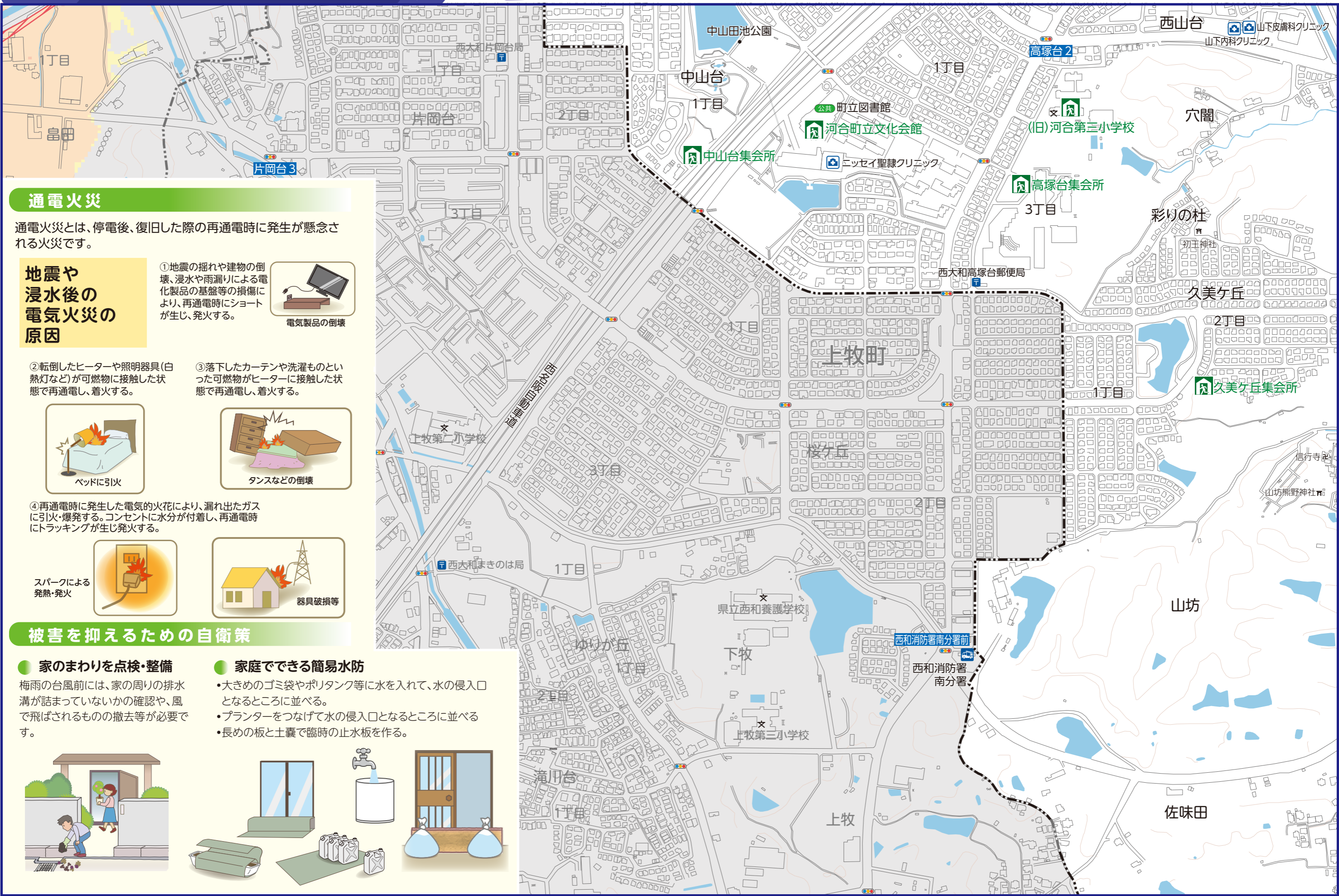
0 50 100 150m 1/6,000

凡例

指定避難所	樋門	消防署
福祉避難所	水位観測所	警察
公共施設	ヘリポート	病院
		郵便局
		CCTV(カメラ)

ハザード情報

浸水した場合に想定される水深	家屋倒壊等氾濫想定区域	土砂災害
5.0m~10.0m未満	0.5m~3.0m未満	急傾斜(レッドゾーン)
3.0m~5.0m未満	0.5m未満	急傾斜(イエローゾーン)
	河岸侵食	
	氾濫流	



通電火災

通電火災とは、停電後、復旧した際の再通電時に発生が懸念される火災です。

地震や浸水後の電気火災の原因

①地震の揺れや建物の倒壊、浸水や雨漏りによる電化製品の基盤等の損傷により、再通電時にショートが生じ、発火する。

電気製品の倒壊

- ②転倒したヒーターや照明器具(白熱灯など)が可燃物に接触した状態で再通電し、着火する。
- ③落下したカーテンや洗濯ものといった可燃物がヒーターに接触した状態で再通電し、着火する。

ベッドに引火

タンスなどの倒壊

④再通電時に発生した電氣的火花により、漏れ出たガスに引火・爆発する。コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキングが生じ発火する。

スパークによる発熱・発火

器具破損等

被害を抑えるための自衛策

- 家のまわりを点検・整備**
梅雨の台風前には、家の周りの排水溝が詰まっていないかの確認や、風で飛ばされるものの撤去等が必要です。
- 家庭でできる簡易水防**
 - 大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となるところに並べる。
 - プランターをつなげて水の侵入口となるところに並べる。
 - 長めの板と土嚢で臨時的止水板を作る。



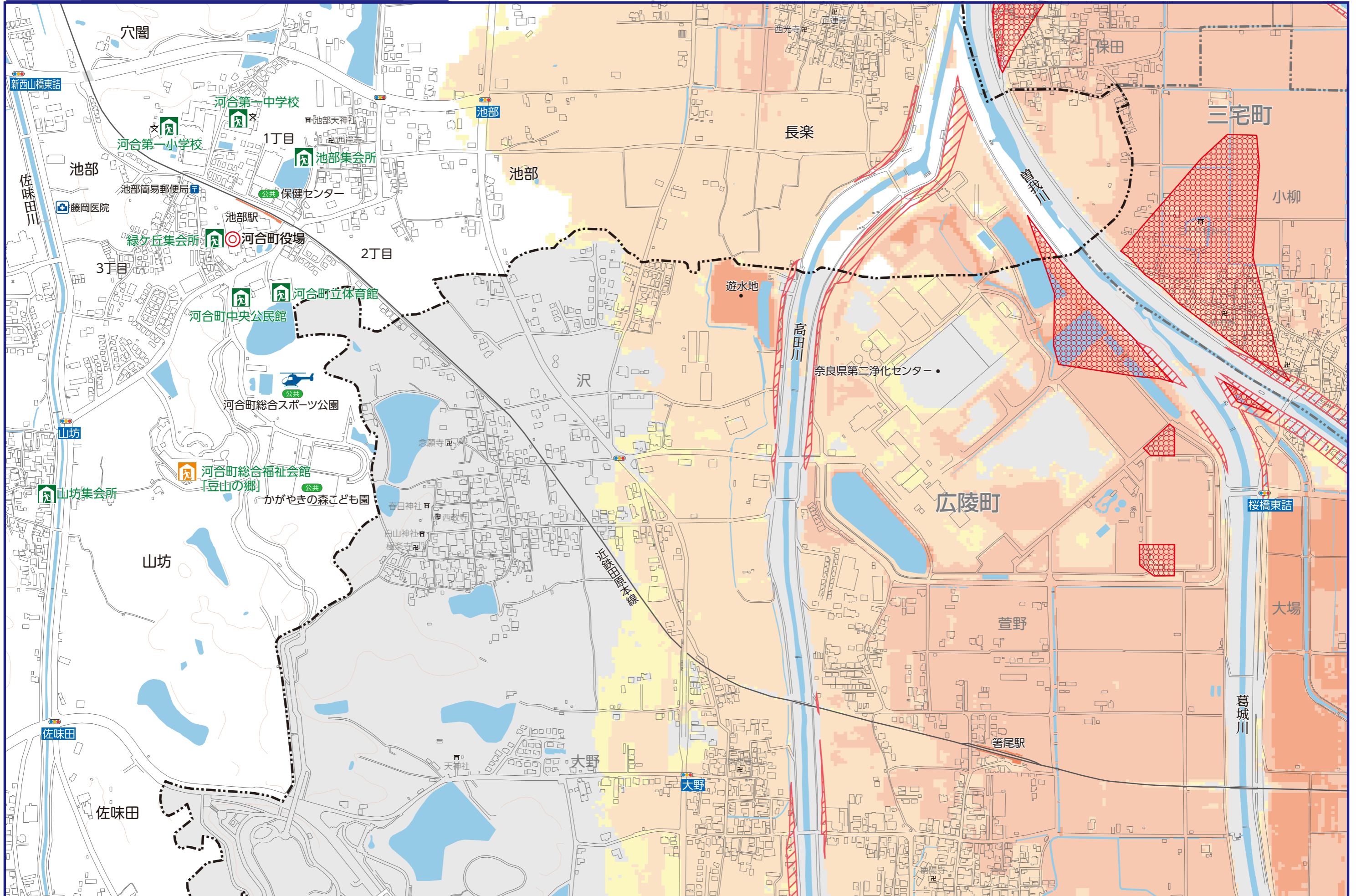
洪水ハザードマップ(想定最大規模) (家屋倒壊等氾濫[氾濫流/河岸侵食]) 土砂災害ハザードマップ

0 50 100 150m 1/6,000

- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 公共施設
 - 樋門
 - 水位観測所
 - ヘリポート
 - 消防署
 - 警察
 - 病院
 - 郵便局
 - CCTV(カメラ)

ハザード情報

浸水した場合に想定される水深		家屋倒壊等氾濫想定区域		土砂災害	
5.0m~	0.5m~	河岸侵食	急傾斜(レッドゾーン)	急傾斜(イエローゾーン)	
10.0m未満	3.0m未満	氾濫流			
3.0m~	0.5m未満				
5.0m未満					



5

洪水ハザードマップ(想定最大規模) (家屋倒壊等氾濫[氾濫流/河岸侵食]) 土砂災害ハザードマップ

0 50 100 150m 1/6,000

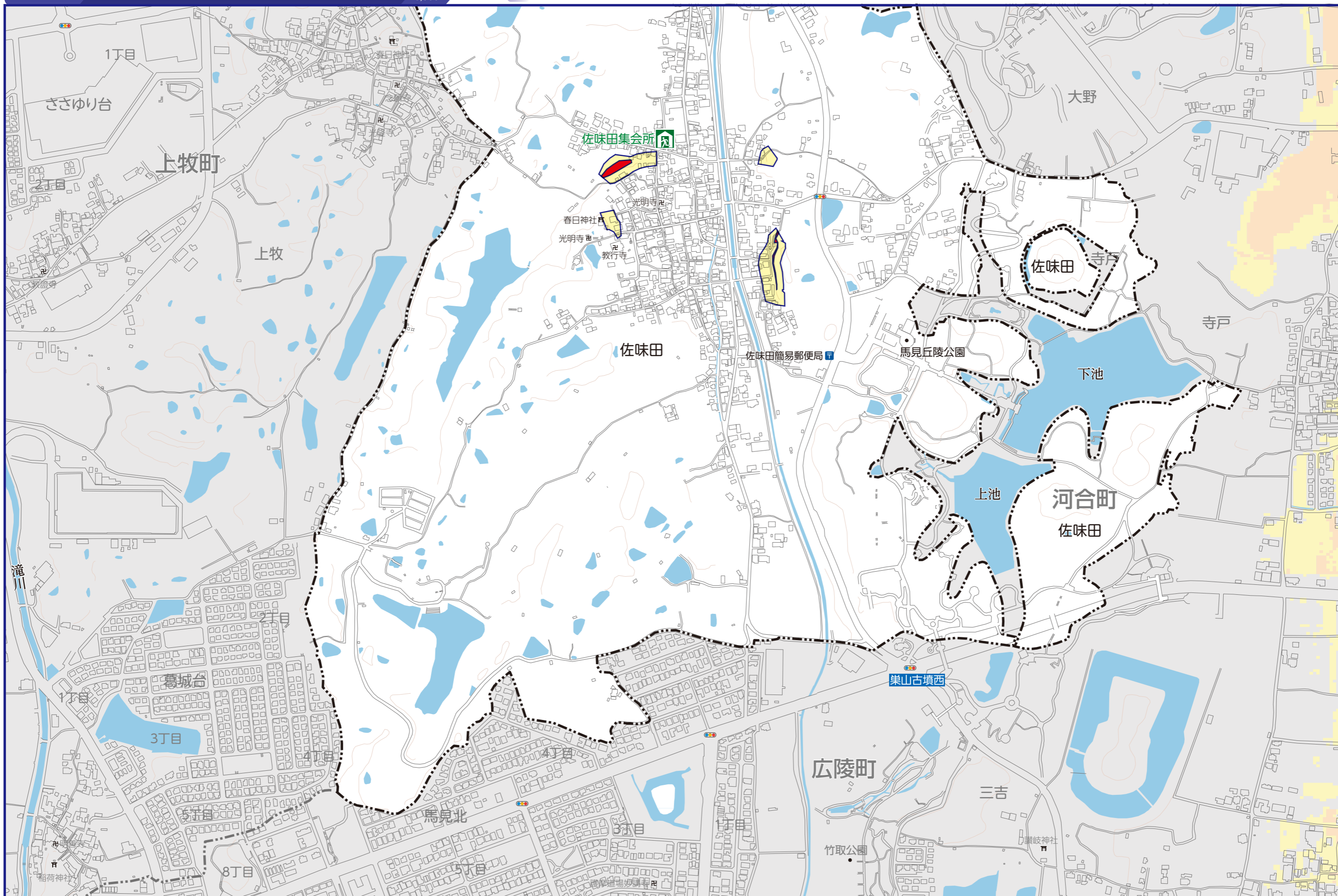
- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 公共施設
 - 樋門
 - 水位観測所
 - ヘリポート
 - 消防署
 - 警察
 - 病院
 - 郵便局
 - CCTV(カメラ)

ハザード情報

浸水した場合に想定される水深	
5.0m~ 10.0m未満	0.5m~ 3.0m未満
3.0m~ 5.0m未満	0.5m未満

- 家屋倒壊等
氾濫想定区域
- 河岸侵食
 - 氾濫流

- 土砂災害
- 急傾斜(レッドゾーン)
 - 急傾斜(イエローゾーン)



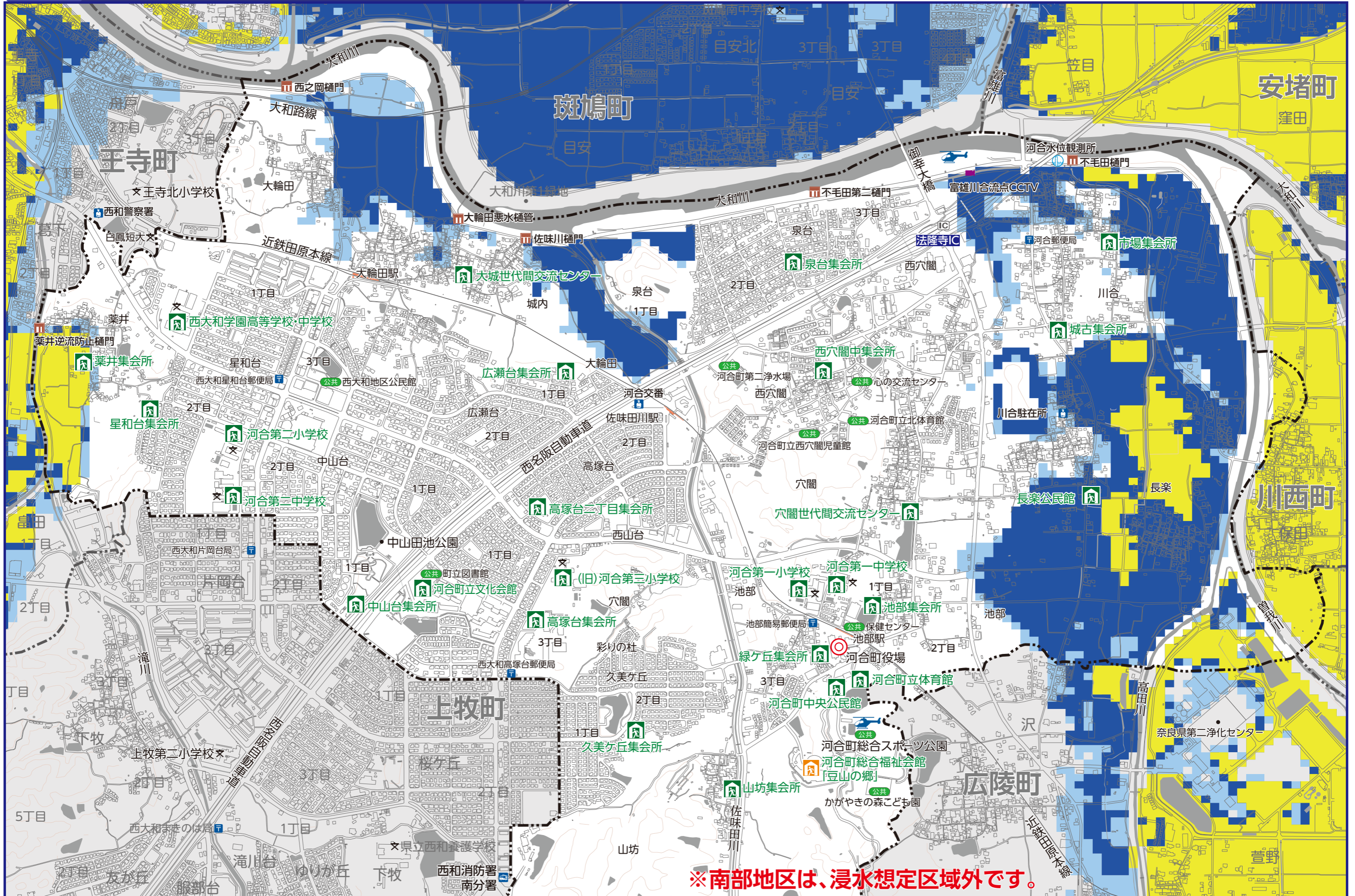
洪水ハザードマップ（浸水継続時間）

0 250 500m 1/11,000

浸水継続する時間

- 12時間未満
- 1日～3日未満
- 12時間～1日未満

- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 公共施設
 - 樋門
 - 水位観測所
 - ハリポート
 - 消防署
 - 警察
 - 病院
 - CCTV (カメラ)
 - 郵便局



※南部地区は、浸水想定区域外です。



指定避難所一覧

番号	AED	避難所名称	所在地
1		長楽公民館	長楽85番地
2		城古集会所	川合(城古)909番地1
3		市場集会所	川合(市場)614番地1
4		泉台集会所	泉台3丁目3番2号
5		大城世代間交流センター	大輪田1711番地
6		薬井集会所	薬井25番地5
7		星和台集会所	星和台2丁目27番地2
8		中山台集会所	中山台1丁目16番地
9		広瀬台集会所	広瀬台1丁目7番地
10		高塚台集会所	高塚台3丁目15番地
11	◎	高塚台二丁目集会所	高塚台2丁目35番地3
12		久美ヶ丘集会所	久美ヶ丘2丁目30番地4
13		佐味田集会所	佐味田588番地
14		山坊集会所	山坊539番地2

番号	AED	避難所名称	所在地
15		緑ヶ丘集会所	池部3丁目1番8号
16		池部集会所	池部1丁目3番3号
17		穴闇世代間交流センター	穴闇12番地
18		西穴闇中集会所	西穴闇396番地3
19	◎	西大和学園	薬井295番地
20	◎	河合第一小学校	池部1丁目15番10号
21	◎	河合第二小学校	星和台2丁目7番地1
22	◎	(旧)河合第三小学校	高塚台3丁目4番地2
23	◎	河合第一中学校	池部1丁目13番1号
24	◎	河合第二中学校	星和台2丁目7番地2
25	◎	河合町立体育館	池部2丁目13番2号
26	◎	河合町中央公民館	池部2丁目13番1号
27	◎	河合町立文化会館	高塚台1丁目8番地3
28	◎	河合町総合福祉会館※	山坊24番地3

緊急避難については、自宅近くの公園または広場を事前に確認しておき、各家庭でどこに避難するのか決めておいて下さい。

※福祉避難所

[関連機関]

緊急病院

施設名	所在地	電話番号
奈良県西和医療センター	三郷町三室1丁目14番16号	0745-32-0505
恵王病院	王寺町王寺2丁目10番18号	0745-72-3101
奈良友誼会病院	上牧町服部台5丁目2番1号	0745-78-3588

夜間休日応急診療所

施設名	所在地	電話番号
三室休日応急診療所	斑鳩町稲葉車瀬2丁目5番18号	0745-74-4100
橿原市休日夜間応急診療所	橿原市畝傍町9-1	0744-22-9683

西和警察署	王寺町葛下1丁目7番9号	0745-72-0110
奈良県広域消防組合 西和消防署	王寺町王寺1丁目1番3号	0745-73-1001

わが家の防災メモ

いざという時の連絡先・安否情報の確認の手段などを、家族の間で確認しておきましょう。

わが家の避難場所

家族の集合場所

災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号